



## 平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京ドーム  
 コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久代 信次  
 (氏名) 佐々木 浩平

TEL 03-3811-2111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	63,915	4.7	10,978	21.6	9,374	25.1	5,483	△14.0
27年1月期第3四半期	61,062	△2.0	9,031	△10.6	7,494	△9.2	6,373	△15.2

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 10,432百万円 (68.9%) 27年1月期第3四半期 6,177百万円 (△54.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	28.77	—
27年1月期第3四半期	33.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第3四半期	304,619	88,864	29.2	466.19
27年1月期	304,484	80,688	26.5	423.27

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 88,864百万円 27年1月期 80,688百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,700	1.8	11,700	3.8	9,900	8.4	5,600	△24.7	29.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) (株)水戸後樂園

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期3Q	191,714,840 株	27年1月期	191,714,840 株
② 期末自己株式数	28年1月期3Q	1,099,124 株	27年1月期	1,083,879 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期3Q	190,621,934 株	27年1月期3Q	190,640,897 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、東京ドームにおける野球・コンサートイベントが前年同期比で増加したことにより増収となっておりますが、税制改正に伴い繰延税金資産の取り崩しを行ったため、四半期純利益につきましては減益となっております。

以上の結果、売上高は639億1千5百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は109億7千8百万円(前年同期比21.6%増)、経常利益は93億7千4百万円(前年同期比25.1%増)、四半期純利益は54億8千3百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

#### <東京ドームシティ>

##### (東京ドーム)

東京ドームは、読売巨人軍公式戦の好調や、コンサートイベント開催日数が前年同期比で大幅に増加したことにより、増収となりました。

##### (東京ドームシティ アトラクションズ)

東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクション及びコラボレーションイベントの好調により、増収となりました。

##### (東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、円安による訪日外国人の増加や、東京ドームにおける野球・コンサートイベント増加の影響により、宿泊部門が売上・客室稼働率ともに好調に推移し、増収となりました。

##### (ラクーア)

ラクーアは、前期における消費税増税前のスパ回数券需要の反動があったものの、テナントが好調であったため、ほぼ前年並となりました。

##### (黄色いビル)

黄色いビルは、テナント賃料の改定がありましたが、オフト後楽園の好調により、ほぼ前年並となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は475億4千2百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益(セグメント利益)は127億5千8百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

#### <流通>

ショップインは、前年度におけるウィング高輪店の退店や当期におけるルミネ北千住店の改装休業はあったものの、既存店の好調やルクア イーレ店の開業により、増収となりました。

以上の結果、売上高は53億7千3百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業損失(セグメント損失)は1千2百万円(前年同四半期比1千4百万円の改善)となりました。

#### <不動産>

当社所有の「相模原ビル」における新規テナントの通期稼働により、増収となりました。

以上の結果、売上高は11億7千7百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益(セグメント利益)は4億4千6百万円(前年同四半期比11.5%増)となりました。

〈熱海〉

熱海後樂園ホテルは、個人、団体共に宿泊利用が増加し、増収となりましたが、経費の増加により、若干の減益となりました。

以上の結果、売上高は33億6千6百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益(セグメント利益)は2億4百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

〈札幌〉

東京ドームホテル 札幌は、宿泊客数及び客室単価の増加により、増収となりました。

以上の結果、売上高は21億8千9百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益(セグメント利益)は7千6百万円(前年同四半期比698.1%増)となりました。

〈競輪〉

松戸競輪場は、G I レースの開催や、F I レースの開催日数が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、売上高は19億6千7百万円(前年同四半期比28.1%増)、営業利益(セグメント利益)は2億6千2百万円(前年同四半期比2億8千8百万円の改善)となりました。

〈その他〉

㈱東京ドームスポーツにおいて、指定管理者制度による運営受託の増加により、増収となりましたが、事業拡大に伴う体制強化のための経費の増加により、減益となりました。

以上の結果、売上高は32億6百万円(前年同四半期比31.9%増)、営業利益(セグメント利益)は1億2千8百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、株価の上昇による投資有価証券の増加により3,046億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千4百万円の増加となっております。

なお負債は、社債の償還等により2,157億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億4千万円の減少となっております。

また純資産は、四半期純利益の計上等により888億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億7千5百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期の業績につきましては、東京ドームにおけるクライマックスシリーズの開催や、東京ドームホテルをはじめとする各営業施設の高稼働により、好調に推移しております。

その結果、当初予想を上回る見込みとなりましたので、平成27年9月4日に公表した業績予想を修正しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった(株)水戸後樂園は、平成27年4月30日に清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が624百万円減少し、退職給付に係る負債が1,031百万円増加し、利益剰余金が1,105百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ47百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,871	13,592
受取手形及び売掛金	3,145	3,461
有価証券	399	449
たな卸資産	1,294	1,373
繰延税金資産	458	1,833
その他	1,173	6,536
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	22,338	27,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	212,158	213,148
減価償却累計額	△124,639	△127,604
建物及び構築物(純額)	87,519	85,543
機械装置及び運搬具	13,193	13,618
減価償却累計額	△10,474	△11,002
機械装置及び運搬具(純額)	2,719	2,616
土地	143,680	143,678
建設仮勘定	248	776
その他	18,009	17,482
減価償却累計額	△14,024	△13,816
その他(純額)	3,984	3,665
有形固定資産合計	238,151	236,281
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	537	544
その他	144	143
無形固定資産合計	1,107	1,114
投資その他の資産		
投資有価証券	33,601	35,013
長期貸付金	711	554
退職給付に係る資産	624	—
繰延税金資産	3,721	86
その他	2,889	2,900
貸倒引当金	△143	△139
投資その他の資産合計	41,406	38,415
固定資産合計	280,665	275,811
繰延資産		
社債発行費	1,480	1,563
繰延資産合計	1,480	1,563
資産合計	304,484	304,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	687	847
1年内償還予定の社債	25,596	21,524
短期借入金	27,343	29,340
未払法人税等	523	385
賞与引当金	388	792
役員賞与引当金	30	21
ポイント引当金	191	197
商品券等引換引当金	6	4
その他	16,821	13,934
流動負債合計	71,588	67,047
固定負債		
社債	42,908	42,994
長期借入金	70,236	69,113
受入保証金	2,922	2,819
繰延税金負債	73	184
再評価に係る繰延税金負債	30,759	27,843
退職給付に係る負債	3,766	4,407
執行役員退職慰労引当金	131	119
その他	1,408	1,225
固定負債合計	152,206	148,707
負債合計	223,795	215,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	17,820	21,055
自己株式	△473	△481
株主資本合計	20,163	23,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,201	12,077
土地再評価差額金	50,956	53,871
為替換算調整勘定	△394	△267
退職給付に係る調整累計額	△237	△207
その他の包括利益累計額合計	60,525	65,474
純資産合計	80,688	88,864
負債純資産合計	304,484	304,619



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	61,062	63,915
売上原価	47,955	48,989
売上総利益	13,107	14,925
一般管理費	4,076	3,946
営業利益	9,031	10,978
営業外収益		
受取利息	54	47
受取配当金	333	375
為替差益	79	—
持分法による投資利益	102	—
その他	95	51
営業外収益合計	665	474
営業外費用		
支払利息	1,331	1,230
社債発行費償却	454	466
為替差損	—	84
持分法による投資損失	—	108
その他	416	188
営業外費用合計	2,202	2,078
経常利益	7,494	9,374
特別利益		
固定資産売却益	0	0
固定資産受贈益	—	45
投資有価証券売却益	44	28
工事負担金等受入額	10	18
補助金収入	50	51
固定資産除却等損失引当金戻入額	131	—
その他	21	9
特別利益合計	258	154
特別損失		
固定資産売却損	54	0
固定資産除却損	153	173
解体撤去費	219	156
関係会社支援損	12	—
その他	—	0
特別損失合計	440	330
税金等調整前四半期純利益	7,312	9,198
法人税、住民税及び事業税	670	493
法人税等調整額	268	3,220
法人税等合計	939	3,714
少数株主損益調整前四半期純利益	6,373	5,483
四半期純利益	6,373	5,483

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,373	5,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	1,874
土地再評価差額金	—	2,915
退職給付に係る調整額	—	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△120	129
その他の包括利益合計	△195	4,948
四半期包括利益	6,177	10,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,177	10,432

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	45,356	5,286	1,158	3,288	2,051	1,536	58,676	2,386	61,062	—	61,062
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	684	—	4	1	2	—	692	44	737	△737	—
計	46,041	5,286	1,162	3,290	2,053	1,536	59,369	2,430	61,800	△737	61,062
セグメント利益 又は損失(△)	11,403	△27	400	205	9	△25	11,965	133	12,098	△3,067	9,031

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,067百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△3,102百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	46,688	5,373	1,173	3,363	2,185	1,967	60,752	3,162	63,915	—	63,915
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	854	—	3	2	3	—	864	43	907	△907	—
計	47,542	5,373	1,177	3,366	2,189	1,967	61,616	3,206	64,822	△907	63,915
セグメント利益 又は損失(△)	12,758	△12	446	204	76	262	13,735	128	13,863	△2,884	10,978

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,884百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△2,925百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。